

製品の取扱いに関する留意事項

本留意事項は、製品使用者の皆様が製品を安全にご使用いただくための主な留意事項をまとめたものです。製品のご使用に際しては本留意事項に十分ご留意いただくと共に、関係カタログ・技術資料等に当たってご使用くださいますようお願いいたします。

せんい強化セメント板協会

【1】波形スレートの取扱いに関する留意事項 (2008.10.1)

1.設計・材料使用上の留意事項

- ・せんい強化セメント板協会(以下当協会という)会員のカタログ記載以外の用途には使用しないでください。
- ・耐火等認定を使用する場合は、認定仕様に従ってください。
- ・踏み抜き等の事故を防ぐため、屋根には小波板の使用を避け、より強度の高い大波板を使用してください。
- ・波形スレートが高温にさらされる部位での使用については、当協会会員にお問合せください。
- ・屋内側が高湿度となる場合は、内部結露が発生することがありますので、十分換気してください。
- ・寒冷地で波形スレートを使用する場合は、凍害の恐れがありますのでご注意ください。
- ・屋根勾配と流れの長さによっては、降雨量により流水断面を越え、雨漏りとなることがありますので、技術資料等を参照の上設計してください。
- ・波形スレートの取り付け下地には、内装用の鋼製壁下地材(スタッド等)は使用しないでください。
- ・セメント製品のため、製造ロットにより色調が異なる場合があります。
- ・現場塗装をするとクラック発生の原因となる恐れがありますので、工場塗装の化粧波形スレートをご使用ください。
- ・波形スレートはビスの保持力がありませんので、樋受け金物、配電盤等は強度のある下地材に取り付けてください。

2.運搬、保管の留意事項

- ・保管は、屋内の硬い平らなところに、水平に置いてください。
- ・積み置きは地面に直接置かず、不陸にならないよう角材等の飼木をしてください。
- ・施工現場に仮置きする場合は、雨掛かりを防ぐため防水シートで保護してください。
- ・輸送時の損傷を防ぐためロープを掛け、角には必ず当て板をしてください。
- ・荷扱いの際は、衝撃を与えないように丁寧に扱ってください。
- ・波形スレートの上に乗らないでください。
- ・安全のためには、積み重ねの高さを1メートル以下としてください。

3.施工上の留意事項

- ・カタログ、技術資料等の施工要領に従って、正しく施工して下さい。
- ・強風の地域並びに軒先、棟及びけらばの周辺部の留め付け金物は、波形スレート1枚につき母屋1列あたり3本留め以上としてください。
- ・踏み抜き事故防止のため、波形スレートの上には直接乗らないでください。

4.廃材処理の留意事項

- ・建設産業廃棄物を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下廃棄物処理法という)に従って処分してください。
- ・廃棄物処理法における廃棄物の排出事業者は、元請様となります。
- ・波形スレートの廃材は、「がれき類」として安定型処分場に処分できます。石綿含有波形スレートの廃材も同様ですが、「石綿含有産業廃棄物」として廃棄物処理法の規定に従うことが必要です。
- ・当協会は、ホームページに「石綿含有建築材料成形板の廃棄物処理について」を掲載しています。

5.安全衛生上の留意事項

- ・高所作業には「労働安全衛生法」に従い、必ず安全ネット・親綱・安全帯・歩み板等安全対策を行ってください。
- ・電動工具を使用して切断する場合は、「粉じん障害防止規則」等に従い、必ず集じん装置を使用してください。
- ・粉じんが発生する屋内の取扱い作業所には、除じん装置を設けてください。
- ・切断を行う場合は、防じんマスク・保護メガネ等の保護具を着用してください。
- ・作業後は、うがい・手洗いを励行してください。
- ・石綿含有製品の取り扱いについては「石綿障害予防規則」を順守してください。
- ・石綿含有製品については、当協会ホームページに「石綿スレート波板の解体・改修工事手順書」を掲載しています。

[2] けい酸カルシウム板/タイプ2 の取扱いに関する留意事項 (2008.10.1)

1. 設計・材料使用上の留意事項

- ・せんい強化セメント板協会(以下当協会という)会員のカタログ記載事項に従ってください。
- ・防・耐火及び遮音等認定を使用する場合は、認定仕様に従ってください。
- ・浴室、サウナルーム等には使用しないでください。
- ・高温、高温等特殊な条件での使用については、事前に会員にお問い合わせください。
- ・ドア等開口部へ施工する場合は、クラック発生の恐れがありますので、けい酸カルシウム板(以下、ボードという)に切り欠きを入れない割付をしてください。
- ・屋内側が高湿度となる場合は、内部結露が発生することがありますので、十分換気してください。
- ・製造ロットにより色調が異なる場合があります。
- ・斜光および外付きの照明の光によっては、表面に陰影が見える場合があります。
- ・色調、表面状態は表裏面で異なりますので、へだて板等両面使用の際はご注意ください。
- ・熱が掛かる個所への使用については、熱による下地とボードの動きを考慮して、留め付け金物の径より大きな下穴を開けボードを留め付けてください。
- ・風や地震などによる建物の変形によりボードにクラックが生ずる場合がありますので、躯体の変形の力が直接ボードに伝わらないように、伸縮目地を設けるなどの処置を施してください。
- ・軒天井に使用する場合は、風圧計算を行い、下地間隔や材料厚などを会員に相談してください。
- ・GL工法は、施工後接着性やそり等の不具合が発生しますので避けてください。
- ・ボードに直接手すり、設備機器は取り付けられません。強度のある下地材に取付けてください。
- ・天井、軒天井、野地板等施工したボードの上に乗らないでください。
- ・室内プールのロックウール化粧吸音板下地材として使用する場合は、ロックウール化粧吸音板メーカーの標準施工要領書等に従ってください。

2. 運搬、保管の留意事項

- ・保管は屋内とし、直射日光、雨の当たる場所、湿気の多い場所を避けてください。
- ・屋内の固い平らなところに水平に置き、パレットを使用してください。
- ・輸送時の損傷を防ぐためロープを掛け、角には必ず当て板をしてください。
- ・荷扱いの際は、衝撃を与えないように丁寧に扱ってください。
- ・ボードの上に物を置いたり乗ったりしないでください。
- ・施工現場では安全のために、積み重ねの高さを1メートル以下としてください。
- ・立てかけ保管は、ボードの変形の原因になりますので避けてください。

3. 施工上の留意事項

- ・カタログ、技術資料等の施工要領に従って、正しく施工してください。
- ・天井施工の場合、ボードの繊維方向と下地の方向は直行させてください。
- ・ボードの目地は、下地の上にくるように割付けてください。
- ・下地は不陸のないように、通りよく仕上げてください。
- ・ねじ抜け、保持力不足、亀裂等の原因となりますので、ねじは必要以上に強く締めすぎないでください。
- ・ボードの表面に物が当たったり擦ったりすると、「キズ」「テカリ」等が生ずることがありますので、取り扱いには留意してください。
- ・ボードを持ち運びするときは垂直に立てて行い、水平に持たないでください。
- ・間仕切壁の場合、上下ランナにはねじ留めしないでください。

4. 廃材処理の留意事項

- ・廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)に従い、「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」または「がれき類」として安定型処分場に処分できます。
- ・廃棄物処理法における廃棄物の排出事業者は、元請様となります。
- ・当協会は、ホームページに「石綿含有建築材料成形板の廃棄物処理について」を掲載しています。

5. 安全衛生上の留意事項

- ・作業に際しては、「労働安全衛生法」等に従って安全対策を行ってください。
- ・電動工具を使用して切断、加工する場合は、「粉じん障害防止規則」等に従い、必ず集塵装置および防じんマスク、防じんメガネ等を使用してください。
- ・のこぎり、カッターナイフ、やすり等の手動工具を使用して切断する場合は、防じんマスクを使用してください。
- ・粉じんが発生する屋内の取扱い作業所には、除じん装置を設けてください。
- ・作業後は、うがい・手洗いを励行してください。
- ・石綿含有製品の取り扱いについては「石綿障害予防規則」を順守してください。
- ・石綿含有製品については、当協会ホームページに「石綿含有ボードの解体・改修工事手順書」を掲載しています。